



～中学生のための佐原高校情報紙～

# 佐原高校だより

佐原高校だより 平成 27 年度第 4 号 平成 28 年 1 月 7 日  
佐原高校は創立 120 周年 (2020 年) に向けて進化と続けます。

こんにちは！「佐原高校だより」(通称：佐高だより)では、佐原高校での高校生活についてお伝えしていきます。今号では昨秋以降の行事についてお知らせします。

## 江戸優り佐原・文化芸術祭に参加！

10月24日(土)～11月8日(日)に開催された「江戸優り佐原・文化芸術祭～佐原まちぐるみ小劇場～」(佐原商工会議所等主催)に、書道部、音楽部、演劇部、佐原高校まちづくりプロジェクト(SMP)が参加しました。

日本一の大土蔵である与倉屋大土蔵を会場に、10月31日は書道部が藁で作った大筆で書道パフォーマンス、11月1日は音楽部がプロギタリストの竹田京右さんと合唱のコラボレーション、11月3日は演劇部が「夏芙蓉」の演劇を行いました。

SMPは東大院生と一緒に、忠敬橋そばの正文堂を拠点に一般の方も参加した町歩きイベントを行いました



藁の筆パフォーマンスに初挑戦



美しいギターの調べに感動



多くの方に見ていただきました 町歩き前のミーティング



## 外務省「高校講座」開催！

11月11日(水)外務省南部アジア部で東ティモールを担当されている松岡晶子さんを講師にお迎えし、外務省「高校講座」が開催されました。

ご自身の高校、大学時代の留学体験、長く滞在されたインドネシアについて、外務省でのお仕事について等たいへん興味深いお話をいただきました。

生徒たちは広く世界に目を向けることの大切さと外国語学習の重要性をあらため理解しました。また、一歩踏み出す勇気ももらった生徒もたくさんいたようです。



質疑応答の時間も有意義なものになりました。

インドネシアのケンタッキーでは(マックでも!)必ずご飯がつくと聞いて、食文化の違いに驚きました。



## 国際交流Day!

11月16日(月)には、南アフリカの貿易産業省から幕張にある日本貿易振興機構アジア経済研究所に研修にいらしている方を講師に迎え、幕張アジアアカデミー・アジア総合学科が開催されることが決まっていた。直前になって、台湾の屏東縣立東港高級中學の生徒が学校交流で本校を訪れることが決まり、同時に2つの国からお客さんを迎えることになりました。当日は、30名近くの外国の方が校内にいて、いつもとは違う佐原高校でした。

南アフリカからいらしたアムさんは、校内見学等の後、3年生の地理B選択者を対象に、南アフリカについての授業を、パワーポイントのスライドで多くの画像を使いながら行いました。授業はすべて英語で、ほとんど通訳なしだったので、受講者はとても熱心に聞いていました。講師のアムさんの熱い思いが伝わってくる素晴らしい授業でした。放課後には、SMPのメンバーがアムさんに佐原の町の案内をしました。



屏東縣立東港高級中學の生徒たちはオリエンテーションの後、1年生の音楽、書道の授業、アムさんの特別授業に参加しました。



授業の後は、交流会を行い、記念品の交換をしました。また、授業の中でも、本校生徒が用意した記念品を渡していました。お互いの母語が通じないので、英語を介してのコミュニケーションでしたが、すぐ打ち

解けて楽しく会話していました。

その後、台湾の生徒たちは、生徒の家や町の方の家にホームステイし、家族の皆さんとも交流を深めました。一晩の滞在でしたが、翌日の朝の出発前には、そこかしこで別れを惜しんでいる姿が見られました。

生徒たちは、その後も連絡を取り合っているようで、冬休みに一家で台湾旅行した生徒もいます。

## 佐高OB夢授業第11回開催！

佐原高校キャリア教育の目玉である「佐高OB夢授業」(第11回)が12月12日(土)に開催されました。今回も多彩なOB・OGの皆さんが、後輩たちに向けて熱い授業をしてくださいました。(講師の詳細は本校ホームページで見られます。)



写真は、ヨガインストラクター(左)と篠笛奏者(右)の先輩

## 山倉・大角地区の行事に協力！

12月23日、24日の2日間、山倉・大角住民自治協議会主催の「山倉・大角みんなの家」に。演劇部と漫画・イラスト同好会の生徒たちが参加し、地元の小学生たちと楽しく交流しました。

